

死亡症例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
68	B-05003268	女性	91歳	150mg		白血球数減少 血小板数減少	死亡 死亡	高血圧及び胃炎の患者。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル150mg/日を服用開始。服用3日目、血小板数減少、白血球数減少が発現し、死亡。担当医の協力が得られず、その詳細は不明。
69	B-07000232	男性	93歳	150mg		アレルギー性胞隔炎	死亡	A型インフルエンザのため、本剤処方。投与3日目、食思不振となり、本剤投与中止。 投与中止5日目、アレルギー性肺臓炎(間質性肺炎)6発現。 投与中止6日目、呼吸困難増悪、発熱継続(38℃以上)。デカドロン4mg/日投与開始。 投与中止21日目、症状改善せず、呼吸不全にて死亡。
70	B-05001178	男性	94歳	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センノシド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用(併用薬は左記のとおり)。入院4日目の夕方、不穏な行動あり(少し認知症の気があった)、その後嘔吐(潜血反応+)あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。
71	B-05000882	女性	95歳	75mg	アミノフィリン 塩酸プロムヘキシ ン 塩酸セフェピム リン酸デキサメタゾンナトリウ ム	突然死	死亡	甲状腺原発悪性リンパ腫術を6年前に施行。うっ血性心不全の患者。インフルエンザB型と診断され、その日の夕方、リン酸オセルタミビル75mgを服用し、入院(併用薬は左記のとおり)。翌日の朝、本剤75mgを服用し、夕方の回診時には、呼吸苦及び喘鳴が改善。約1時間後、再度の回診時、すでに呼吸が停止しており、死亡。

P140